

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってからの下足の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が持ち直しつつあることなどから、全体では持ち直しつつある。生産活動は、生産用機械が拡大に向けた動きに一服感がみられるものの、電子部品・デバイス及び化学が持ち直しつつあることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	↗

設備投資	3年度は減少見込みとなっている	4年度は増加見込みとなっている	↗
企業収益	3年度は減益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	↗
住宅建設	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では衣料品や高額品に動きがみられることから、前年を上回っている。スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。以上のような状況を踏まえると、持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、米飯類等に動きがみられることなどから、堅調となっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることなどから、順調となっている。ホームセンター販売は、DIY用品の動きが鈍いものの、園芸用品等に動きがみられることから、前年並みとなっている。家電大型専門店販売は、エアコンに動きがみられるものの、パソコン等の動きが鈍いことから、横ばいの状況にある。新車販売台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っており、弱含んでいる。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。旅行取扱実績は、海外旅行は厳しい状況にあるものの、国内旅行は北陸地域内の旅行に動きがみられる。以上のことから、個人消費については、持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 連休中は催事が好調で、観光客や帰省客で賑わった。連休後も、週末を中心に客足が戻ってきており、こうした動きが続いている。(百貨店)
- 前年比では巣ごもり需要はやや落ち着いているものの、依然として飲食料品の売れ行きが良い。(スーパー、中堅企業)
- 人流の回復に伴い客数が増加しており、おにぎりや弁当など米飯類の売れ行きが良い。(コンビニエンスストア、大企業)
- 前年比では巣ごもり需要にやや落ち着きが見られるものの、引き続き飲食料品の売れ行きが良いほか、気温の高い日が続き、制汗剤や日焼け止めの動きが良い。(ドラッグストア、中堅企業)
- 晴れの日が多く、園芸用品やレジャー用品の売れ行きが良い。(ホームセンター、大企業)
- 気温の上昇により、エアコンの売れ行きが良い。一方で、テレワーク需要の落ち着きから、パソコンの動きが鈍い。(家電大型専門店、中小企業)
- メーカー各社の自動車減産により、納車までの期間がさらに長期化しているほか、納期が見通せない車種も増えている。また、受注は順調に推移しているものの、納期の不透明さから、購入を見送る動きもある。(自動車販売店、中堅企業)
- 引き続き県民割が実施されていることから、近隣県からの宿泊客が多い。(温泉地)
- 週末を中心に観光客の姿がみられるほか、地元客も少しずつ戻ってきている。(飲食サービス、大企業)

■ 生産活動 「緩やかに回復しつつある」

電子部品・デバイスは、スマートフォン向けを中心に持ち直しつつある。化学は、大宗を占める医薬品で、持ち直しつつある。生産用機械は、半導体製造装置が拡大しているほか、金属加工機械が増加しているものの、繊維機械が減少していることなどから、拡大に向けた動きに一服感がみられる。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用を中心に緩やかに持ち直しつつある。繊維は、衣料向け、非衣料向けともに足踏みの状況にある。以上のことから、生産活動については、緩やかに回復しつつある。

- スマートフォン向けについては、中国メーカー向けは減少しているものの、北米メーカー向けは順調となっている。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 引き続き、全国的な医療用医薬品の不足を背景に、後発医薬品を中心に受注が増えている。(化学、大企業)
- 世界的な半導体不足を背景に、半導体製造装置は韓国、台湾などのアジア向けを中心にフル生産が続いている。(生産用機械、大企業)
- 住宅用サッシやエクステリアが堅調となっているほか、ビル用は徐々に動きがみられ始めている。(金属製品、大企業)
- カーシート向けについては、自動車減産の影響を受けて、一部車種向けでやや減少している。(繊維、大企業)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は上昇している。新規求人数、新規求職者数ともに前年を上回っている。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。以上のことなどから、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 経済活動の再開により、小売以外の業種も含めて人材の取り合いになっている。(小売、中堅企業)
- 様々な採用活動を行っているが人材が集まらないため、DX投資による生産性向上を図っている。(電子部品、中小企業)
- 感染状況の落ち着きから、宿泊・飲食、サービス業等、コロナ禍で少なくなっていた業種からの求人が戻ってきている。また、求職について在職求職者の増加に加え、感染症によって控えられていた求職活動が徐々に戻ってきている。(労働局)

- **設備投資** 「4年度は増加見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 製造業では、情報通信機械器具などが増加となるものの、生産用機械器具、金属製品などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
 - 非製造業では、運輸・郵便などが減少となるものの、金融・保険、建設などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
- システム更新や店舗の修繕などにより、増加見込み。(金融・保険、大企業)
 - 新工場の建設などにより、増加見込み。(建設、中堅企業)
 - 前年度に実施した大型投資の反動などにより、減少見込み。(生産用機械器具、大企業)
- **企業収益** 「4年度は増益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 製造業では、情報通信機械器具などが減益となるものの、自動車・同附属品、繊維工業などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、情報通信などが減益となるものの、学術研究・専門・技術サービス、運輸・郵便などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4-6月期
 - 企業の景況判断BSIは、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では4年7-9月期は「下降」超となる見通しとなっているものの、4年10-12月期は「上昇」超となる見通しとなっている。
 - **住宅建設** 「持ち直しつつある」
 - 新設住宅着工戸数でみると、持ち直しつつある。
 - **公共事業** 「前年を下回っている」
 - 前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。
 - **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」
 - 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。
 - **企業倒産** 「前年を下回っている」
 - 件数、負債総額ともに前年を下回っている。
 - **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を上回っている」
 - 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(4年4月判断)	今回(4年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに回復しつつある。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
富山県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっている。また、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
福井県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は持ち直している。また、雇用情勢は、持ち直している。